

## 標準例の主な改定点

No.	指針・標準例名	該当箇所	改正理由	改正後	改正前	資料 該当頁
改正						
1	民間競争入札実施 要項標準例 (施設の管理・運 営業務)	—	建築保全業務共通仕様書の 5 年ごとの改定を 受けた修正	資料 1 - 5 の改正箇所 (下記の No 7) を除 く、資料 1 - 3 の青字見え消し・追加記載の 部分。	—	1 - 3
改正						
2	民間競争入札実施 要項標準例 (試験実施業務)	—	オンライン出願に関する記載の追加に伴う修 正	資料 1 - 4 の青字見え消し・追加記載の部 分。	—	1 - 4

No.	指針・標準例名	該当箇所	改正理由	改正後	改正前	資料 該当頁
<b>情報の開示関係①（人の単位）</b>						
3	官民・民間競争入札実施要項標準例 （施設の管理・運営業務）	別紙2-1 「従来の実施状況に関する情報の開示」 2. 従来の実施に要した人員 （単位：人）	情報の開示について、「表「従来の実施に要した人員」に記載の人数が、配置人数と延べ人数のどちらか不明である。」との委員会審議を踏まえた修正。	2 従来の実施に要した人員（単位：※）  ※人月、人日、延べ人数、配置人数、兼務者数等、従事者の規模、勤務状況の実態が把握できるように記載すること。	2 従来の実施に要した人員 （単位：人）	1-5 1/10 2/10
4	民間競争入札実施要項標準例 （試験実施業務）	別紙2-1 「従来の実施状況に関する情報の開示」 2. 従来の実施に要した人員 （単位：人）	同上	2 従来の実施に要した人員（単位：※）  ※人月、人日、延べ人数、配置人数、兼務者数等、従事者の規模、勤務状況の実態が把握できるように記載すること。	2 従来の実施に要した人員 （単位：人）	1-5 3/10
5	民間競争入札実施要項標準例 （統計調査業務）	別紙2-1 「従来の実施状況に関する情報の開示」 2 従来の実施に要した人員 （単位：人）	同上	2 従来の実施に要した人員（単位：※※）  ※※人月、人日、延べ人数、配置人数、兼務者数等、従事者の規模、勤務状況の実態が把握できるように記載すること。	2 従来の実施に要した人員 （単位：人）	1-5 4/10
6	民間競争入札実施要項標準例 （OA関係）	別紙2-1 「従来の実施状況に関する情報の開示」 2 従来の実施に要した人員 （単位：人）	同上	2 従来の実施に要した人員（単位：※）  ※人月、人日、延べ人数、配置人数、兼務者数等、従事者の規模、勤務状況の実態が把握できるように記載すること。	2 従来の実施に要した人員 （単位：人）	1-5 5/10

No.	指針・標準例名	該当箇所	改正理由	改正後	改正前	資料 該当頁
<b>情報の開示関係②（請負）</b>						
7	官民・民間競争入札実施要項標準例（施設の管理・運営業務）	Ⅲ．実施要項への記載例 〇〇〇（施設名）の管理・運営業務における官民競争入札又は民間競争入札実施要項（記載例）の枠内	情報の開示において、「（本文が）委託の場合は委託費、請負の場合は請負費と用語を統一されるとよい」との委員会審議を踏まえた修正。	※記載例では、「委託」、「委託費」といった用語を使用しているが、請負契約の場合は、「請負」、「請負費」に修正すること。	（記載なし）	1－5 6/10
8	民間競争入札実施要項標準例（試験実施業務）	別紙2－1 「従来の実施状況に関する情報の開示」 1 従来の実施に要した経費	同上	（大項目）請負費等 （小項目）請負費定額部分	（大項目） 委託費等 （小項目） 委託費定額部分	1－5 7/10
9	民間競争入札実施要項標準例（統計調査業務）	別紙2－1 「従来の実施状況に関する情報の開示」 1 従来の実施に要した経費	同上	（大項目）請負費等 （小項目）請負費定額部分	（大項目） 委託費等 （小項目） 委託費定額部分	1－5 8/10
<b>引継ぎ</b>						
10	民間競争入札実施要項標準例（OA関係）	2.（1）ウ 請負業務の引継ぎ （イ）請負期間満了の際の引継ぎ	引継ぎについて、「入札する事業者が引き継ぎ時に何をすればいいのかがわかるように記載いただきたい。」との委員会審議を踏まえた修正。	※現行事業者及び次回請負者において、クラウドサービス等引継ぎが必要な場合は、必要事項を具体的に記載にする。	（記載なし）	1－5 9/10

No.	指針・標準例名	該当箇所	改正理由	改正後	改正前	資料 該当頁
<b>危険負担</b>						
11	民間競争入札実施要項標準例（OA関係）	2.（1） サ 不可抗力免責・危険負担	不可抗力免責・危険負担について、0Aの標準例はタイトルは不可抗力免責・危険負担としているが内容は危険負担のみを記載しているため、他の標準例に記載を揃えるための修正。	民間事業者は、不可抗力により本業務の全部若しくは一部の履行が遅延又は不能となった場合は当該責任を負わないものとする。	（記載なし）	1－5 10/10
<b>記載の明確化</b>						
12	官民・民間競争入札実施要項標準例（施設の管理・運営業務）	1. 2. 2（1）② 点検及び保守業務 1. 2. 2（2）清掃	「確保すべき質」について記載する箇所において、当該質が達成されたかどうかの判断をする際、解釈の余地を残すような記述を避けるための修正。	「適切な」「快適な」に関する解釈の余地が生じないように、標準例の本文中に「※「適切」「快適」の内容について、解釈の余地が生じないように実施機関において、以下の先事例を参考に、具体的に記載すること。」と注釈を記載し、事例を追記した。	（記載なし）	1－3 40/57
13	民間競争入札実施要項標準例（試験実施業務）	2.（2） ⑧会場準備業務	同上	以下の通り、「適切に」の内容を明確化した。  「試験の実施に支障がないよう、・・・」	「試験が適切に実施できるよう、・・・」	1－4 16/46
14	民間競争入札実施要項標準例（試験実施業務）	2.（2） ⑮受験者等からの照会対応業務	同上	「受験希望者、出願者からの問合せや苦情等にはマニュアルに基づいて適切に対応し、・・・」	「受験希望者、出願者からの問合せや苦情等には適切に対応し、・・・」	1－4 18/46